



平成31年2月4日

西の子

学校だより 2月号
三島市立西小学校

(活動の様子は三島市立西小学校のブログで御覧いただけます。)

現在236750人

文責 校長 土屋 晃

2月は逃げて…。

この時季を表す言葉に、「1月は行ってしまい、2月は逃げて、3月は去って行く。」というものがあります。全く言い得て妙な言葉です。卒業式まであと33日しかありません。学校では、学習のまとめはもとより、放課後の時間を使って来年度の教育課程について話し合っています。マネジメントサイクルPDCAのC（評価・チェック）が終わり、P（計画）を立てているところです。Cでは児童・保護者・教職員へのアンケートをはじめ、学校評議委員（山本さん・河野さん・及川さん）との話し合いを通して、課題を洗い出し、31年度の最適解を求めて計画を練っています。その一端をご紹介します。

（数値はそう思う、どちらかというと思う、と肯定的に捉えた割合です。）

児童アンケート	30年度の目標	30年度の実績	31年度の目標
学校が楽しい	95	92	94
授業が分かる	90	88	90
目当てに向かい進んで努力した	90	86	88
自分の良さがわかる	85	84	85
学校は信頼できる（教育相談体制・学校の対応）	88	96	92

○教育目標について

- ・昨年度までの目標はやや難しさを感じたが、今年度は分かりやすく感じる。頭文字を使うアイディアはよい。目標が子どもになじみやすいと具現化につながる。
- ・90%以上の子が「学校が楽しい」と答えているが、減る傾向にあるのは残念。目標である「自ら」という気持ちが奮い立たせるためにも、子どもに楽しいという思いを小学校6年間の中でもたせたい。

○学びの充実

- ・教職員の学びの充実における評価が、保護者に比べ年々向上しているのはよい傾向で、先生方の熱意が子どもに伝わっていくと思う。
- ・図書館利用についてのアンケート結果は、限られた時間の中で子どもに求められているたくさん家庭学習、運動、読書等により、読書にしわ寄せがいつているのではないかと。図書館での調べ学習は、調べ方を丁寧に指導する必要がある。図書館の利用を増やすためには興味関心を持たせる工夫をし、調べ学習の入口部分を身に付けさせることで、図書館に行って調べたいという子を増やしたいと思う。それが、分からないことを自ら学ぼうとする子につながっている。

○生徒指導（いじめのない学級100%）

- ・保護者が89%から77%に下がっていることが気になる。保護者は自分の子ども以外のことを他人からの情報で判断したのではないか。ただ、実際の生活の中で表に出てこないものもあるので、子どもたちを注意して見ていく必要がある。結果として数値に表れたことはよい傾向で、具体的な対策を考えていく必要がある。

○保護者と地域住民との連携

- ・地域で子どもを育てるといふ思いを高めたいが、世話役の問題から子ども会などの地域における活動に子どもが参加できない状況も生まれている。子どもたちには地域行事などへ参加して楽しかったことを家庭で積極的に話してもらいたい。また、保護者には、参加することのメリットを知ってもらいたい。

【スクールガード会議】

1月29日(火) 14:30から正門前で各町内会長とスクールガードの方との会合がもたれました。そこで出た意見としては

- ① 登校時の歩き方はよいが、下校時は結構バラバラで、危ない。
- ② 保護者の方にも旗振り講習会を実施しては。小さい子を連れての旗振りは危ない。
- ③ あいさつができない。横断歩道を渡るときは手を挙げて。
- ④ ポケットに手を入れて歩かない。

【6年生と一緒にご覧になりませんか】

3月5日(火) 13:40から西小学校第2音楽室で6年生の卒業を祝って朗読劇「菜の子先生はどこへ行く?~12人目のクラスメイト~」を行います。とても感動的なお話です。お時間の許す方はどうぞご覧ください。床に座っての観覧になりますので、服装に気をつけ座布団などを用意されるとよいと思います。



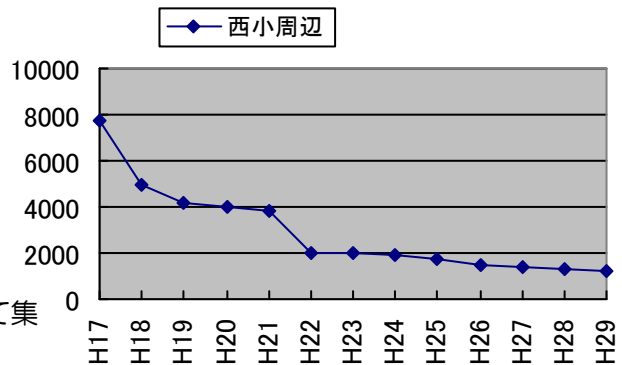
<ブックマンよりお知らせ>

【総合的な学習のヒント】西小周辺のたばこの吸い殻調べ

西小学校周辺の通学路に落ちていたたばこの吸い殻の本数をグラフにしたものです。拾った時間は月曜日から金曜日の朝15分間だそうです。

(飯田喜一様 調べ)

昨年も貴重な資料をいただきましたが、こうした取組が総合的な学習のヒントになります。苦勞されて集めたデータから何を感じ、どうしたいかは感性です。



1つ言えることは自分だけが知ったことは必ず人に伝えたいくなるものです。そこに今までの学びを活用しなければならないという必要感が生まれます。そこが総合的な学習のねらいです。